

IDWR Aichi

Infectious Diseases Weekly Report

愛知県感染症情報
平成 15 年第 50 週

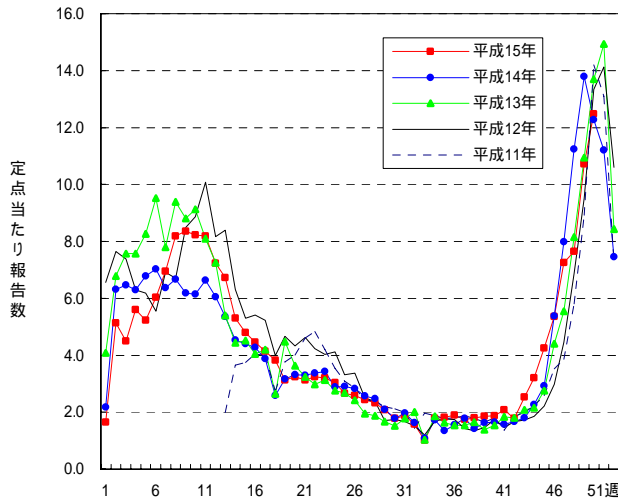
(12 月第 2 週 12/8 ~ 12/14)

トピックス

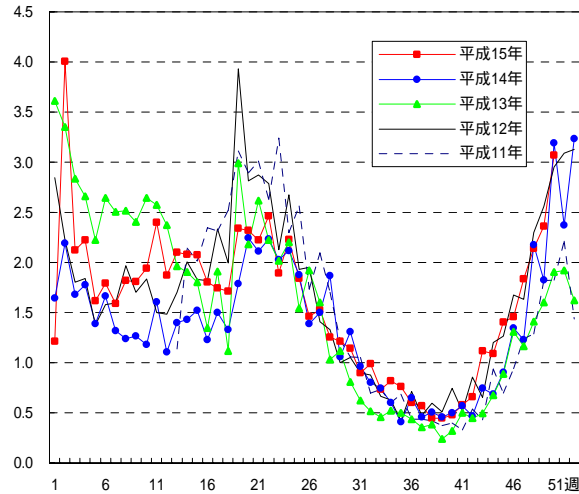
愛知県で今シーズン初の
インフルエンザウイルス(B 型)
分離される

流行状況

感染性胃腸炎



水痘

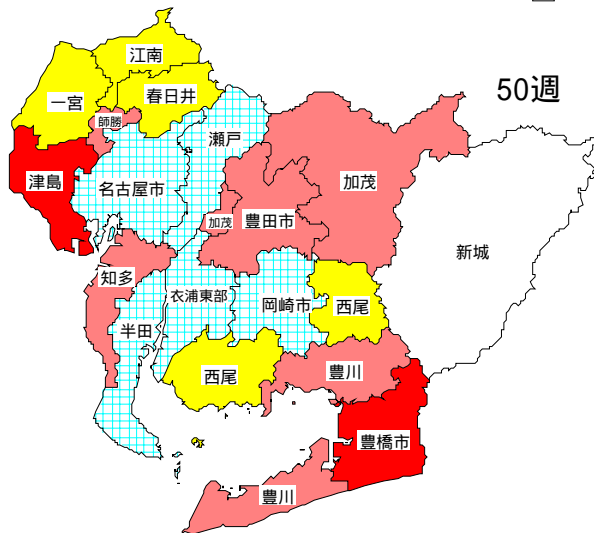
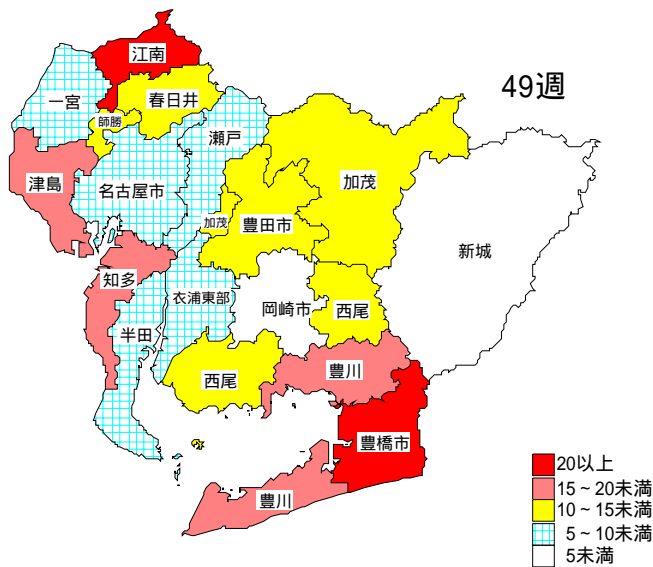


疾患名	前週	今週	備考
<u>感染性胃腸炎</u>	10.7 ▲	12.5 ▲	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<u>水痘</u>	2.4 ▲	3.1 ▲	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人にうつる感染症
<u>咽頭結膜熱</u>	0.34 ▲	0.41 ▲	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症
<u>A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	1.9 ▲	1.8 ▼	レンサ球菌のうち血清型分類の A 群に分類されるものによる上気道感染症
<u>マイコプラズマ肺炎</u>	0.77 ▲	0.31 ▼	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 8 定点からコメントでの患者発生報告あり

定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数
▼ 減少	→ 横ばい	▲ 増加

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

感染性胃腸炎の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

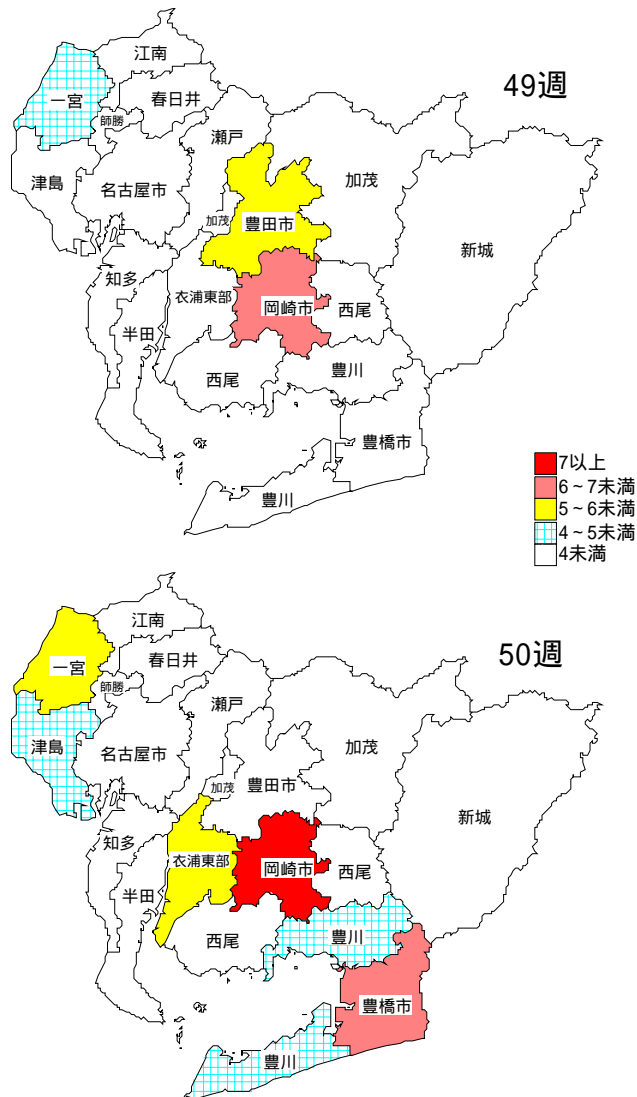


	50週	定点 当たり	49週	定点 当たり		50週	定点 当たり	49週	定点 当たり
名古屋市	616	8.80	501	7.16	岡崎市	48	6.86	8	1.14
瀬戸	65	7.22	51	5.67	衣浦東部	93	8.45	81	7.36
津島	247	35.29	139	19.86	西尾	59	11.80	62	12.40
師勝	65	16.25	57	14.25	豊田市	142	17.75	107	13.38
一宮	146	12.17	106	8.83	加茂	48	16.00	32	10.67
春日井	95	10.56	106	11.78	豊橋市	263	32.88	244	30.50
江南	86	14.33	142	23.67	豊川	144	18.00	146	18.25
半田	34	5.67	52	8.67	新城	0	0.00	0	0.00
知多	120	17.14	116	16.57					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる感染性胃腸炎の流行発生警報は保健所(市)定点当たり20人を越えた場合に発生し、12人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

水痘の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

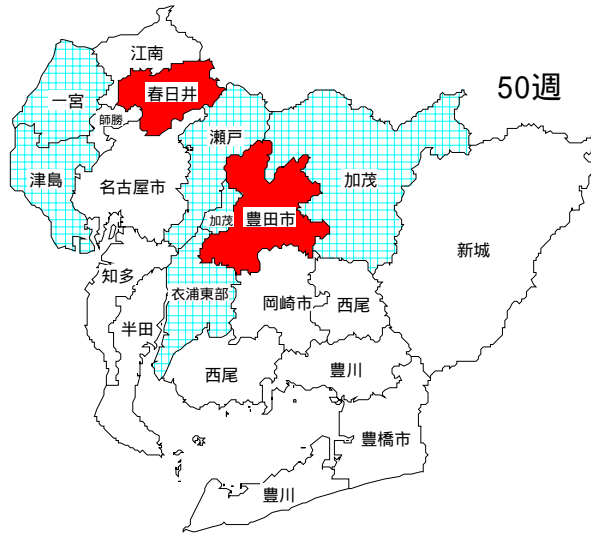
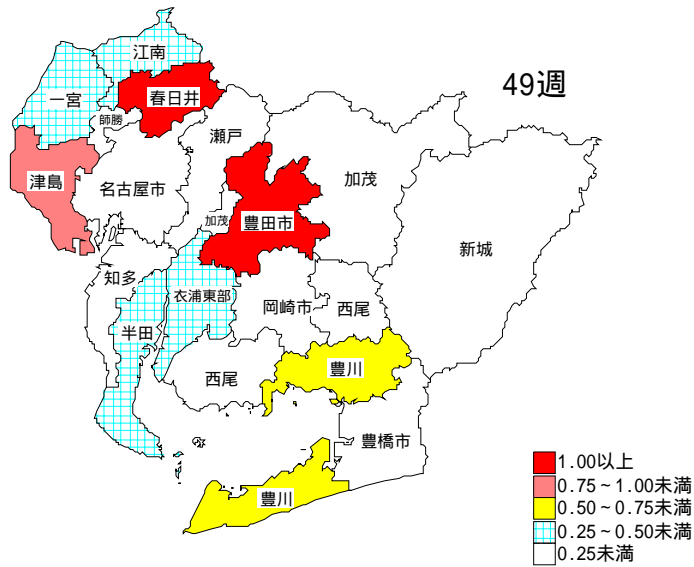


	50週	定点 当たり	49週	定点 当たり		50週	定点 当たり	49週	定点 当たり
名古屋市	121	1.73	91	1.30	岡崎市	60	8.57	44	6.29
瀬戸	14	1.56	15	1.67	衣浦東部	64	5.82	33	3.00
津島	30	4.29	11	1.57	西尾	16	3.20	16	3.20
師勝	9	2.25	6	1.50	豊田市	30	3.75	46	5.75
一宮	62	5.17	50	4.17	加茂	3	1.00	4	1.33
春日井	26	2.89	24	2.67	豊橋市	55	6.88	29	3.63
江南	13	2.17	10	1.67	豊川	32	4.00	27	3.38
半田	11	1.83	13	2.17	新城	1	0.50	1	0.50
知多	12	1.71	10	1.43					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる水痘の流行発生警報は保健所(市)定点当たり7人を越えた場合に発生し、4人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	50週	定点 当たり	49週	定点 当たり		50週	定点 当たり	49週	定点 当たり
名古屋市	17	0.24	17	0.24	岡崎市	0	0.00	0	0.00
瀬戸	4	0.44	0	0.00	衣浦東部	3	0.27	4	0.36
津島	2	0.29	6	0.86	西尾	0	0.00	1	0.20
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	19	2.38	10	1.25
一宮	3	0.25	3	0.25	加茂	1	0.33	0	0.00
春日井	23	2.56	12	1.33	豊橋市	1	0.13	1	0.13
江南	1	0.17	2	0.33	豊川	0	0.00	4	0.50
半田	0	0.00	2	0.33	新城	0	0.00	0	0.00
知多	0	0.00	0	0.00					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

3 咽頭結膜熱の症状など

咽頭結膜熱は5歳以下の幼児を中心に発生がみられる感染症で、通常、夏季に流行し、学校(特にプール)等で集団感染がみられることがあるためプール熱と呼ばれることがあります。

一般的な経過では、5～7日の潜伏期をおいて、発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎による結膜充血、眼痛、流涙等がみられます。眼症状は一般的に片方から始まり、その後他方にも出現します。ただ、眼に永続的な障害を残すことはないと言われています。

ウイルス感染症の1つであり、主にアデノウイルス3型や4型、7型等によって生ずることがわかっています。

アデノウイルス7型は心肺機能低下、免疫機能低下等の基礎疾患のある人、乳幼児、老人では重篤な症状となり、呼吸障害が進行したり、さらに細菌の2次感染も併発しやすいことがあると言われています。

4 予防・治療について

- ・ 咽頭結膜熱にはワクチンがなく、特異的治療法もありませんので予防が大切です。
- ・ 患者の眼や顔を触った手で触れた物を介して感染する(接触感染)と考えられていますので、感染予防対策としては、患者との接触をできるだけ少なくしたり、患者及び患者の体液との接触があれば、うがいや手洗いを励行することなどが推奨されます。
- ・ 症状が現れたら速やかに受診しましょう。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 2歳女、4歳女、8歳女
病原性大腸菌O6 4歳女、7歳男
病原性大腸菌O18 2歳女、5歳女、5歳男
病原性大腸菌O111 2歳女
病原性大腸菌O146 5歳男
病原性大腸菌O86a 36歳女
ロタウイルス 大人1名、子供3名

最近の印象という訳ではなく、ここ5年程のデータで感じますのは、ウイルス性の感染からくる2次的感染性と思われる大腸菌感染症が多いという事です。O1、O8、O16、O25等は、際たるもので治療抵抗性がありますが、それは医療目的での抗生剤利用からというよりは、食品レベルでの投与を考慮する必要があると思われます*。以前0歳児でのカンピロバクターにおいて感受性検査を行った所キノロン系薬剤に対する抵抗性が既にあり驚きました。現在も抗生剤未投与児での大腸菌感染症児を見ることは難しい事ではありません。

【尾西市 城後小児科】

* [あいちの食品衛生](http://www.pref.aichi.jp/eisei/index.html)のホームページをご参照下さい。

(URL:<http://www.pref.aichi.jp/eisei/index.html>)

感染性腸炎、水痘多いです。

咽頭結膜熱も散発

【一宮市 あさのこどもクリニック】

マイコプラズマ気管支肺炎 4歳女、2歳女

麻疹 1歳男 予防接種未接種

水痘 5名中2名は予防接種済

今の感染性胃腸炎は症状として下痢より嘔吐がめだつ。

【一宮市 後藤小児科医院】

アデノウイルス感染症 3歳女

手足口病 10ヵ月男、4歳女

水痘多発している。

【一宮市 平谷小児科】

アデノウイルスによる扁桃、咽頭炎流行しています。

【稲沢市 稲沢市民病院】

溶連菌感染は減少しています。

胃腸炎もピークを超えましたが、水様下痢のものが増えています。

アデノ様の咽頭炎が多く見られます。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症、感染症胃腸炎が相変わらず多く見られています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

溶連菌多発

胃腸炎は続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

12月15日 A型インフルエンザ 1名。

【扶桑町 いずみ内科】

12歳女 マイコプラズマ肺炎

【師勝町 田中クリニック】

69歳女 マイコプラズマ感染症

ウイルス性胃腸風邪がまだ多いようです。家族内感染も見受けられます

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が多く、相変わらず肺炎を含めたマイコプラズマ感染があります。

E Bウイルス感染 5歳女

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週は成人、小児ともに嘔吐を主訴に受診される例が非常に目立ちました。

マイコプラズマ肺炎今週も多くみられました。

その他流行性耳下腺炎、溶連菌感染症散発。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

ロタウイルス 2歳女

マイコプラズマ 2歳女

【尾張旭市 旭労災病院】

アデノウイルス感染症と胃腸かぜ多くみられます。

溶連菌感染症、水痘つづいています。

ムンプスと手足口病が1例ずつありました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ムンプス・伝染性紅斑がみられました。

【春日井市 かちがわ北病院】

感冒性胃腸炎流行

溶連菌小流行

インフルエンザ様感冒まだなし。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ A の 14 歳女子例あり。

その他アデノウイルス感染、感染性胃腸炎、ムンプス流行中です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

流行性耳下腺炎まだあります。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

12月11日 当院今年度初症例 A型インフルエンザ 女19歳、男17歳、男22歳 インフルA Bクイック陽性(A型)

【南知多町 医療法人大岩医院】

依然胃腸炎流行中です。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

2歳女、4歳男女、5歳男 溶連菌感染症 strepA(+)

2歳男 病原大腸菌 O6

1歳女、8歳男、11歳男 イムノカード STアデノウイルス(+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

2歳男 病原性大腸菌 O1(+)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

3歳男、5歳女 アデノウイルス 滲出性扁桃炎

6ヶ月男、4歳女、5歳男 病原大腸菌 O1

5歳男 病原大腸菌 O153

4歳男 病原大腸菌 O18

2歳男 カンピロバクター

嘔吐下痢症が多い。

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

3歳女、5歳男、兄弟インフルエンザ A 陽性

(2人ともワクチン済み)

【刈谷市 まついこどもクリニック】

感染性胃腸炎多い。

【碧南市 永井小児クリニック】

アデノチェック陽性2名

マイコプラズマ肺炎2名

【知立市 宮谷クリニック】

嘔吐、下痢が相変わらず流行。水痘散発

【西尾市 やすい小児科】

1 歳男 病原性大腸菌 O15 VT (-)
 4 歳女 病原性大腸菌 O18 VT (-)
 4 歳男 病原性大腸菌 O1 VT (-)
 4 歳男 病原性大腸菌 O166、O25 VT (-)
 7 歳男 病原性大腸菌 O86 VT (-)、カンピロバクター
 8 歳女 病原性大腸菌 O111 VT (-)
 12 歳男 病原性大腸菌 O1 VT (-)
 7 歳女、9 歳女 カンピロバクター

【幸田町 とみた小児科】

マイコプラズマ肺炎 5 歳男
 感染性胃腸炎が流行中です。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

感染性胃腸炎流行中

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

溶連菌感染症、水痘の患者さんが目立ちます。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

5 歳男 アデノ扁桃炎

1 歳女、2 歳男 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 野村小児科】

マイコプラズマ肺炎多し

【蒲郡市民病院】

感染性の腸炎が急増しています。

マイコプラズマ肺炎も目立ちます。

【豊川市 こざわ小児科】

1 歳男 ロタウイルス

【小坂井町 医療法人宝美会 総合青山病院】

水痘の流行がつづいている。(主に 2~3 の保育園を中心に広がっている)

今週も感冒性胃腸炎目立つ。(学童、両親にも及ぶ)

【田原市 かわせ小児科】

一 ~ 三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	加茂	2	男	12 / 3	12 / 3	12 / 10	026 VT1(+) VT2(-)	

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況

- 愛知県（名古屋市を除く。） -

後天性免疫不全症候群 1 例

（AIDS、推定感染経路：不明、推定感染地域：不明）

第48週(15年11月24日～11月30日)の4類感染症（全国）

小児科定点報告疾患

インフルエンザの定点当たり報告数は未だ低値ではあるが、徐々に増加が認められている。都道府県別では山形県（1.0）が多い。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後減少し続けた後、第43週から再び増加傾向が認められているが、第48週はわずかながら減少した。過去10年間の当該週と比較して第16週から最高の値であり、第48週までの累積定点当たり報告数の過去10年間の平均と比較して、2.9倍を示す大きな流行となっている。都道府県別では山形県（1.1）、熊本県（0.7）が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週から増加傾向が認められているが、第48週は減少した。都道府県別では鳥取県（4.4）、山形県（3.0）が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加しており、第48週も増加した。都道府県別では宮崎県（28.9）、福井県（18.3）、福岡県（16.1）が多い。水痘の定点当たり報告数は第41週から増加傾向が認められており、第48週も増加した。過去5年間の同時期（前週、当該週、翌週）と比較してやや多く、都道府県別では新潟県（4.7）、佐賀県（4.6）、熊本県（4.3）が多い。RSウイルス感染症の報告数は、24都道府県（0の報告も含む）から合計101例であった。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.29で、都道府県別では岡山県（2.4）、山形県（1.5）、香川県（1.4）が多い。

（Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供）

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ

（<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>）の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第50週(平成15年12月8日～12月14日)

愛知県衛生研究所

		定点数																										
		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病は除く。)	成人麻しん
愛知県(名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	28	23	74	336	2,271	559	28	81	123	1	2	7	2	168	0	33	0	0	4	0	0	
総数(名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	28	15	57	258	1,655	438	24	50	100	1	1	7	2	134	0	26	0	0	4	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1		8	17	78	616	121	4	31	23		1			34		7						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	13	1	4	29	65	14	6	5	10			3		5								
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1		2	4	247	30			6					5		1						
尾張中部	師勝	4	4	1	1					6	65	9			1					1								
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2		3	21	146	62	5	1	15				1	9		2						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1	4	23	22	95	26	2	4	4			1		23		5						
	江南	6	6	1	2				1	22	86	13	1	4	5			3		5		1						
知多半島	半田	6	6	1	2	1		4		13	34	11	3	4	3	1				2						2		
	知多	7	7	2	2					20	120	12		5	7					16		1						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		1		37	48	60	1	7	10					18		1						
	衣浦東部	11	11	2	4	1		2	3	30	93	64	1	6	10					29								
	西尾	5	5	1	2	1				2	59	16	1	1	3					7		2						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	8	3	19	25	142	30	1	8	10		1		1	7		9						
	加茂	3	3		1				1	1	48	3			2					2								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1			1	19	263	55	3	2	8					3		3						
	豊川	9	8	1	2	1	3			7	144	32		3	6					2		1				2		
東三河北部	新城	2	2			1						1																

(注)感染症法の一部改正によりRSウイルス感染症が追加、急性脳炎は五類全数把握対象疾患に変更されました。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第50週(平成14年12月30日～平成15年12月14日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	(成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎*	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	(オウム病は除く。)	クラミジア肺炎	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県(名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	60	47,962	1,748	9,626	38,566	14,613	11,083	2,127	6,661	85	69	6,583	181	5,875	35	1,513	9	17	278	0	5	
総数(名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	60	38,641	1,325	6,877	26,803	11,627	9,442	1,647	5,350	72	45	4,786	146	4,725	30	1,124	9	16	274	0	5	
名古屋市	70	70	11	14	1		9,321	423	2,749	11,763	2,986	1,641	480	1,311	13	24	1,797	35	1,150	5	389		1	4			
瀬戸	9	9	2	3	1	26	2,757	88	1,051	1,548	529	208	61	300	9	2	503	13	477	3	43			2			
津島	7	7	2	2	1	1	1,342	55	122	2,388	596	901	85	262	2		238	2	226	2	35		2	21			
師勝	4	4	1	1			1,378	14	166	1,453	210	188	23	123		5	394	1	172	1	20						
一宮	16	12	3	4	1	8	2,729	56	497	3,145	1,096	852	146	599	7	1	356	6	283	1	158	1	1	33			
春日井	9	9	2	3	1	1	4,299	236	552	1,754	850	806	231	453	4	4	477	7	514	1	87	2	4	6		1	
江南	6	6	1	2			1,522	76	470	2,518	653	769	128	387	3	1	216	1	175		52						
半田	6	6	1	2	1		1,919	21	271	955	318	201	87	293	3	1	160	2	237		18	1		18		3	
知多	7	7	2	2			2,366	118	566	1,769	685	449	108	402	2	1	345	28	253	2	34						
岡崎市	11	7	2	2	1		4,167	35	474	363	1,168	609	204	631	12		370	2	685	3	100						
衣浦東部	11	11	2	4	1		5,881	102	607	1,531	1,401	954	139	517	6	1	383	16	873	1	114		2	19			
西尾	5	5	1	2	1		1,190	18	262	933	525	330	118	216	1	2	146	10	218		65		4	9		1	
豊田市	8	8	2	3	1	20	2,423	125	433	1,908	1,064	542	102	370	19	22	378	16	358	7	205		2	45			
加茂	3	3		1			489	17	234	615	176	166	14	64	1	3	83		53								
豊橋市	8	8	2	4	1		3,088	238	735	3,561	1,026	1,190	98	414	1		375	25	56	7	123	5		59			
豊川	9	8	1	2	1	4	2,839	126	435	2,362	1,259	1,227	103	295	2	2	360	14	118	2	70		1	62			
新城	2	2			1		252		2		71	50		24			2	3	27								

*一宮保健所から33～45週分の追加報告(細菌性髄膜炎1例、マイコプラズマ肺炎31例)あり

愛知県感染症情報

2003年第1週～第50週(平成14年12月30日～平成15年12月14日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎*	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病は除く。)	成人麻しん	
計	60	38,641	1,325	6,877	26,803	11,627	9,442	1,647	5,350	72	45	4,786	146	4,725	30	1,124	9	16	274	0	5	
～6ヶ月	30	519	8	15	305	311	76	10	440	12		74	2	2		7						
～12ヶ月	15	1,097	49	28	1,599	707	461	53	3,249	21	2	452	29	27		16						
0歳																	5	1	4			
1歳	6	3,231	205	160	3,806	2,093	1,718	96	1,534	14	5	1,187	35	225		31			23			
2歳	6	3,246	199	350	2,980	2,010	1,650	142	99	3	2	914	10	369	1	34			22			
3歳		3,323	205	789	3,047	2,149	1,795	186	12	4	1	837	8	729	2	41			28			
4歳	2	3,519	221	1,312	2,807	2,019	1,573	252	2	4	3	572	8	947	1	42			29			
5歳		2,268	160	1,361	2,258	1,205	1,040	267	2	3	6	390	6	933	1	41						
6歳		1,827	92	1,006	1,634	507	487	232	4		1	152	8	565		15						
7歳	1	1,467	55	611	1,210	211	218	128	2	2	4	73	5	319		13						
8歳		1,305	44	389	947	139	140	118	4	2	3	32	4	205	1	14						
9歳		1,336	24	219	742	80	69	52			1	36	2	114		8						
5歳～9歳																		3	67			
10歳～14歳		4,864	27	325	1,706	122	98	77	2	2	3	29	17	179	1	39			35			
15歳～19歳		1,591	3	26	524	13	9	1			1	8	4	15		35		2	8			
20歳～			33	286	3,238	61	108	33		5	13	30	8	96			4					
20歳～29歳		2,774													11	185		3	18		2	
30歳～39歳		3,057													2	251		5	20		2	
40歳～49歳		1,184													3	99		2	5		1	
50歳～59歳		893													3	122			5			
60歳～69歳		600													1	71			3			
70歳～															3	60						
70歳～79歳		352																	6			
80歳以上		188																	1			

*一宮保健所から33～45週分の追加報告(細菌性髄膜炎1例、マイコプラズマ肺炎31例)あり